

中川愛氷 おいはら 邦楽研究家。明治五年四月二十七日愛媛縣西條生れ、
 昭和二十四年十月十五日没（八七—一九〇）。本名良平。中川愛氷、愛
 氷和尚とも署す。上京して文筆に従事するも、終始三味線音曲を研究。
 その四十餘年の蓄積を、大著『三弦樂史』（昭和十六年一月）二百大日
 本藝術協會（として）古稀記念出版した。

他の編著に、『戯曲抄文集』（編、明治二十二年一月十一日文學同志
 會）、『日本の奇文』（編、明治二十二年五月二十八日大阪・明昇
 堂）、『日本の華文』（編、明治二十二年六月十五日大阪・明昇堂）、
 『雲水萬里』（編、明治二十二年七月二十日大阪・明昇堂）、『貧禪
 獨語』（明治二十二年九月十七日大阪・濱本明昇堂）、『茶の湯の手
 引』（明治二十五年五月一日大阪・濱本明昇堂）、『才媛新
 體詩選すみれ集』（編、明治二十八年一月五日文學同志會）、『名家奇文集』（編、明
 治四十年二月二十日大阪・藤谷崇文館）、『紀行名文集』（編、明治
 四十年二月二十五日大阪・藤谷崇文館）、『模範夫婦』（小川道子共
 著、明治四十三年六月十七日中川

愛氷・服部金太郎刊、金文館）、
 『四季の臺所』（明治四十二年十
 一月十七日女子新聞社）、『地唄』
 （校訂、明治四十四年九月十三日
 いろは書房「聲曲全書」）、『一
 中と鬮八』（校訂、明治四十四年
 十月一日いろは書房「聲曲全書」）、
 『唄と三味線』（大正五年二月二十五日柳山書店）、『不老長生』（昭



和十七年一月二十日大日本藝術協會(等)等。